

きれいなまちづくりを自らの手で

環境基本計画の今月号の内容は、美化活動や不法投棄対策の取り組みについてです。一人ひとりが環境に配慮した行動を実践し、住みやすい環境づくりのために、美化活動などの取り組みに積極的に参加しましょう。

美化活動・不法投棄対策への取り組み

廃棄物を適正に処理しない不法投棄が増えています。タバコの吸い殻や空き缶などの小さなものから、洗濯機や冷蔵庫、テレビなどの大型家電や自動車まで様々なものが、いたるところに捨てられています。河川敷では、そこで投棄されたものだけではなく、上流で投棄されたごみが流されてきた漂着ごみも数多くあります。また、犬の散歩中のフンを拾わずに放置する飼い主も増えています。

地域の方々や、さまざまな団体が、ボランティアで地域の道路や公共の場所、河川敷などのごみ拾いや清掃活動などの美化活動を行い、不法投棄された場所の原状回復をしていますが、なかなか完全にはならない状況です。ポイ捨て、不法投棄はしないという一人ひとりのモラル、マナーの向上が求められています。

取り組みの目標

美化意識が高まり、ポイ捨て、不法投棄等がない快適な空間が確保されている。

目標達成のための指標……………一斉美化活動等参加率 **75%**

§ 私たちに出来ること

- 地域の美化活動等に積極的に協力します。
- ごみやタバコのポイ捨てはしません。
- ペットのフンは持ち帰るなど適正な処理をします。
- 住まいや住まいの周辺の除草、清掃を自主的に行います。
- 粗大ごみなどの不法投棄はしません。また、不法投棄を監視します。



◆問い合わせ先 生活安全課 環境保全係 (☎内線114)

秋の市内一斉美化活動 9月27日(日) 午前6時～

市内一斉美化活動は、ごみのない快適な環境づくりを目的としています。各町内会や行政区を中心に住宅周辺、公園、道路などの清掃活動にご協力をお願いします。

なお、回収物は、資源物・焼却物・埋立物などに分別して、指定収集日に各地区のごみステーションに出すよう、ご協力をお願いします(回収物は当日回収しません)。

小雨決行、荒天の場合は翌週10月4日(日)に延期となります。延期の場合は、防災行政無線によりお知らせいたします。

◆問い合わせ先
生活安全課 環境保全係 (☎内線114)

本宮市の英語指導助手

Jennifer St.Germainさん着任

ジェニファー セイント ジャメイン



本宮市の英語指導助手として、アメリカ合衆国カリフォルニア州トランス市から、ジェニファー・セイント・ジャメインさんが着任しました。任期は、来年7月までの予定で、本宮第一中学校で英語指導にあたります。

ジェニファーさんからのごあいさつ

本宮市の皆さんこんにちは。日本は初めてですが、いつか日本に行きたいという夢がなくなってとてもうれしいです。本宮市は、とてもきれいな街で、とても気に入りました。

期待と不安でいっぱいですが、先生や子どもたちと学べることを楽しみにしています。

趣味は、読書と料理です。また、スキューバダイビングが好きで資格も取りました。野球も大好きです。特にソフトボールが好きで、ぜひチャレンジしてみたいです。

何事も初めての経験で皆さんに助けてもらいながらがんばりますので、これからよろしくお願いします。



ブライアン・オルンバさん (白沢中勤務)



ジェマ・ヴァラノエバさん (本宮二中勤務)

引き続きお世話になります
着任から2年目となる
お二人の先生です。よろしくお祈いします。

ダニエル先生 ありがとう、お元気で!

本宮市の英語指導助手として、本宮第一中学校と第二中学校で英語指導にあたっていただいたダニエル・キムさんが、就業期間を満了しアメリカへ帰国することになりました。3年間、ありがとうございました。帰国されてからも、本宮市のことを忘れないで、がんばってください。

お別れのメッセージ

私は3年前の平成18年に英語指導助手として本宮市(当時本宮町)に来ました。今思えば、初めての海外、そして日本ということでも緊張したのが思い出されます。本宮第一中学校と第二中学校に勤務し、ここでは、元気な生徒と優しい先生方に囲まれ

て、とてもすばらしい環境で働くことができました。3年目からは小学校も訪問し、中学校とは違った雰囲気の中で子どもたちと接することができました。とても楽しかったです。

大学を卒業したばかりで初めての社会人だった私は、日本でいろんなことを学びました。決して忘れませんが、これからは、今までの経験を活かして、できれば大学院に行ってもっともつというんなことを学びたいと思います。本宮市の皆さん、そして小中学校の子どもたちと先生方、長い間本当にありがとうございました。また、ぜひ日本に来ます。それまで皆さんお元気で。さよなら。



シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(14)

本宮市長 佐藤嘉重



9月1日は「防災の日」です。大正12年9月1日に起きた関東大震災の教訓を忘れないため、そして、台風が多いこの時期の心構えの意味も含め、昭和35年に制定されました。日本は、世界的に見ても地震や風水害などの自然災害が多い国ですが、近年では、地球温暖化による気候変動や、異常気象に伴う災害の懸念も高まっています。

これらの自然災害を完全に防ぐことは困難ですが、防災対策を計画的に進めることにより、被害を最小限に抑えることができます。

本市では、福島県や関係機関、消防団と連携して、災害予防や危機管理体制、災害発生時の対応などを定めた「本宮市地域防災計画」を策定しています。

災害が発生した場合、被害拡大の防止とライフラインの確保を最優先に、皆さまの生命や財産を保護する

ため、最善の対策が講じられるよう体制を整えています。

また、市内3カ所に「耐震性貯水槽」を設置しました。この貯水槽は、防火水槽として利用されるほか、飲料水としても利用することができます。今後、これらの施設を使った防災訓練を実施したいと考えています。皆さまのご家庭でも、ぜひこの機会に、避難場所の確認や家具の転倒防止など、身の回りの危険個所の点検を行っていただきたいと思ひます。

災害は、いつ、どこで、どのような形で起きるか予測できません。いざというときに備え、防災対策の一層の充実を図りながら、市民の皆さまが安心して暮らせる、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

※耐震性貯水槽の設置場所は次のとおりです。

- ① みずいる公園 (本宮字馬場地内)
- ② 本宮市役所 (本宮字万世地内)
- ③ 右岸地区防災センター (高木字辻地内)